

# 世界初！卓上型クライオ・光学・走査型電子顕微鏡の開発

株式会社ドキュメンタリーチャンネル

## 背景・目的

顕微鏡には、光で形や色を識別できる光学顕微鏡と、色は分からぬが高分解能を誇る電子顕微鏡がある。特殊な科学撮影を得意とする本開発者は、共同開発者らと、光学顕微鏡と走査型電子顕微鏡を融合し、さらに、試料凍結用の冷凍機を組み込んだ複合顕微鏡の開発に成功した。(特許出願中)

本顕微鏡は小型軽量なため、専用の顕微鏡室を必要とせず、卓上での使用や移設が可能で、教育・農・工・食品・水産・医学など幅広い分野において、廉価に導入できる先鋭の画像分析機器である。

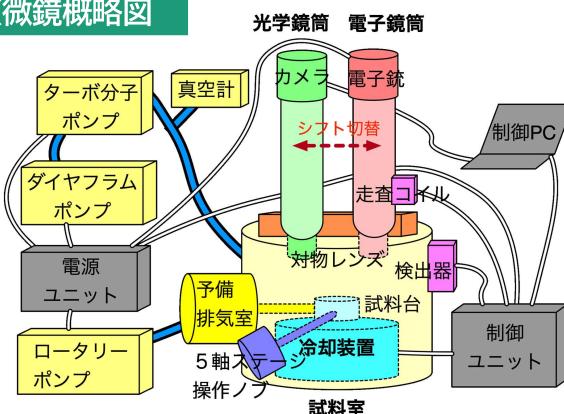
## 研究・開発の概要

走査型電子顕微鏡(SEM)で観察を行う際、水分を含んだ試料は、真空引きによる乾燥によって変形してしまうことが多い。また、試料の導電性が低いと、電子ビームの照射によって帯電(チャージ)し、良好な像を得られず、発熱による変形も起こる。

そのような問題を避けるため、通常、試料に対し化学固定、脱水・乾燥、金属蒸着などの前処理が必要となる。しかし、前処理は時間や手間がかかる上に、本来の色や蛍光試薬の色が失われてしまうことも多く、試料によっては、元の形状を保てずに壊れてしまうものもある。

そこで、本装置は、試料を凍結固定した状態で観察するため、冷凍機を内蔵し、-120°C以下に冷やした試料を徐々に昇温しながら撮影できるように開発。チャージ抑制のため、SEMの加速電圧は、およそ1kVの低加速電圧にした。光学と電子の両方で観察できるように、試料台を動かさずに、二本の並列した鏡筒をシフトさせて切り替える仕組みにした。必要に応じて、凍結した試料を割断することで、断面構造の撮影もできるようになった。

顕微鏡概略図



名称 卓上型トライブリッド（クライオ・光学・走査型電子）顕微鏡  
本体サイズ 幅60・奥行60・高さ65cm  
総重量 約60kg 消費電力 200W - 450W

### 試料台冷却システム

約20分で -120°C以下 ※液体窒素は不要

### 光学鏡筒

※はオプション

#### 光学式ズームレンズ

x0.5 - x4 (センサーサイズに依存)

撮影倍率 約x5 - x40

#### 光学式対物レンズ※

x4、x10、x20、x50、x100

撮影倍率 約x40 - x1000

#### 分解能

高倍率で約 1 μm

#### 高輝度LED照明装置※

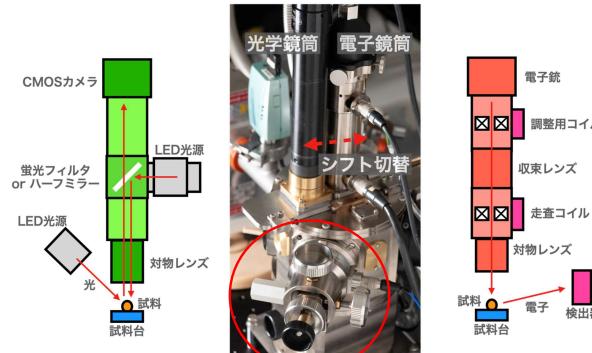
斜光、同軸落射、

蛍光 (UV,B,G励起)

#### 撮像装置

CMOSカメラ (Cマウント)

### 光学&電子鏡筒並列シフト切替方式



5軸ステージ操作ノブ(X,Y,Z,回転,傾斜)

### 参画企業・機関

- ▶ 株式会社テクネックス工房 ▶ お茶の水女子大学 名誉教授 馬場昭次
- ▶埼玉大学教育学部 名誉教授 金子康子
- ▶ 北海道大学低温科学研究所
- ▶ 東京大学新領域創成科学研究所
- ▶ 金沢大学国際基幹教育院GS教育系
- ▶ 島根大学学術研究院農生命科学系
- ▶ 東京科学大学リサーチインフラ・マネジメント機構
- ▶ バイオサイエンスセンター御茶ノ水リサーチファシリティ

### 問い合わせ先

株式会社ドキュメンタリーチャンネル  
担当:藤原 英史  
TEL:049-299-4081  
Mail:fuji@documentary-ch.com

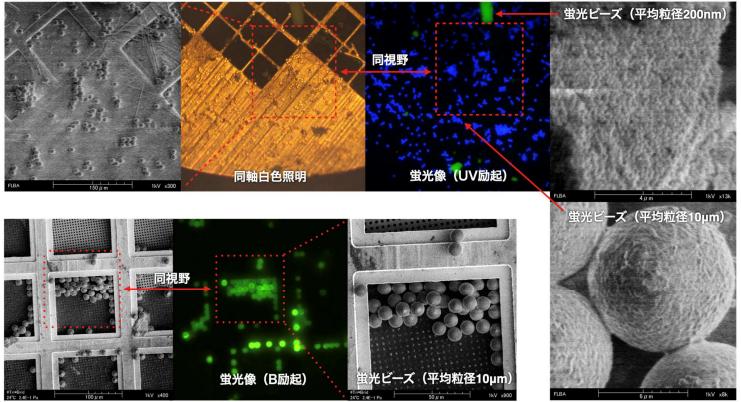
資料・問合せは  
webサイトから



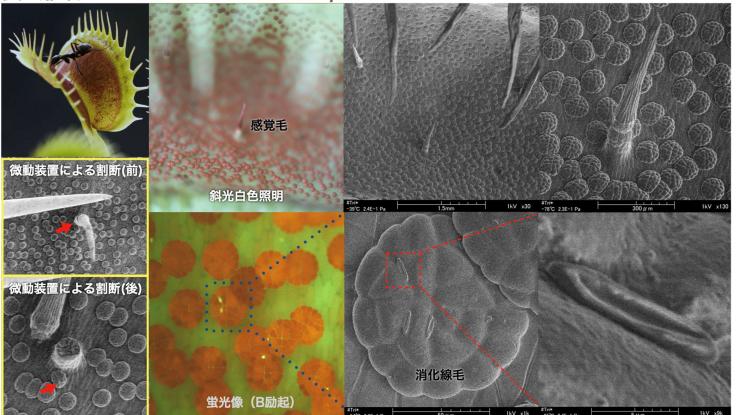
# トライブリッド顕微鏡 撮影例

すべての試料が無化学固定・無蒸着  
カラーは光学顕微鏡撮影  
モノクロは1kV走査型電子顕微鏡撮影

銅メッシュと蛍光ビーズの光学&SEM同軸撮影



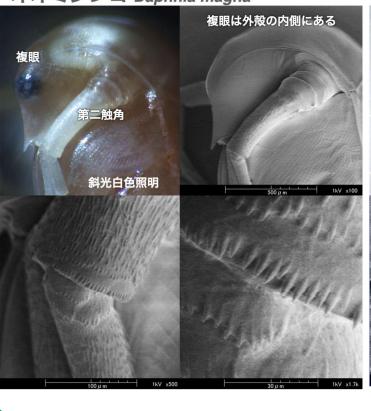
食虫植物 ハエトリグサ *Dionaea muscipula*



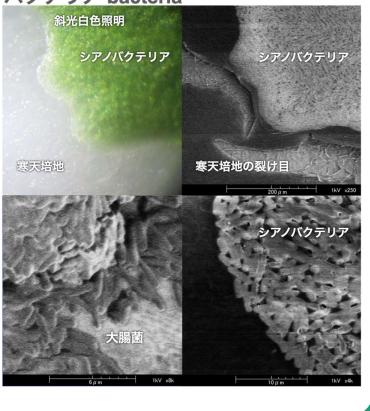
キャベツの葉上のモンシロチョウの1齢幼虫



オオミジンコ *Daphnia magna*



バクテリア bacteria



## 試料凍結法

1. 試料室内での簡易凍結



- ①試料台の上にOTCコンパンドで試料を固定
- ②予備排気室から試料台を冷凍試料室内に導入
- ③およそ毎秒1°Cのペースで試料台の温度は降下  
約3分で凍結終了

2. スラッシュ窒素法で凍結した試料も観察可能



- ①漸熱容器に液体窒素を入れて、真空チャンバー内で減圧すると、液体窒素中にザラメ状の固体窒素が分散した状態、スラッシュ窒素になる（およそ-210°C）
- ②スラッシュ窒素の中に、試料を勢いよく突っ込む。このとき、気化した液体窒素の冷気がさわいていため、試料と液体窒素の接触が良くなり、急速凍結ができる。
- ③凍結したサンプルを試料台に金具で固定する。  
割断して内部を観察する時は、霜が付かないように乾燥空気を満たしたチャンバー内で作業を行い、速やかに予備排気室から試料室内に導入する。

## 断面観察法

A. カミソリで切斷



鋭利なカミソリで切斷してから凍結

B. 凍結後に割る



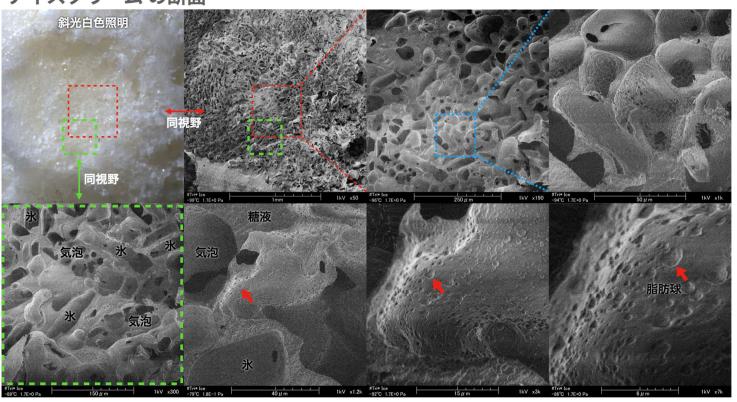
凍結後、刃先で力を加えて割る

C. 凍結後に引き裂く

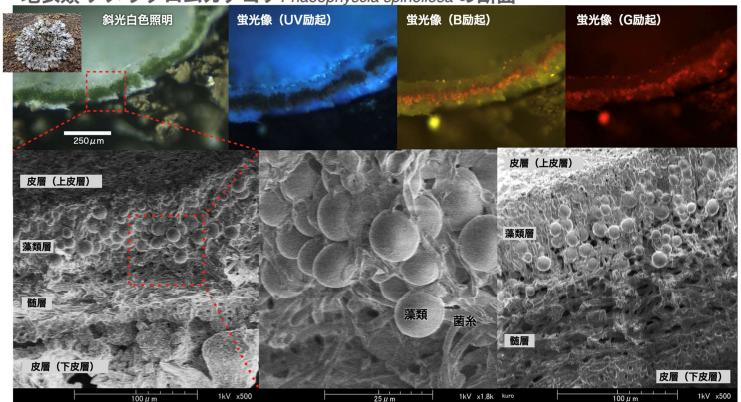


試料を金属にはさんで凍結し  
勢い良くはさすことで試料を引き裂く

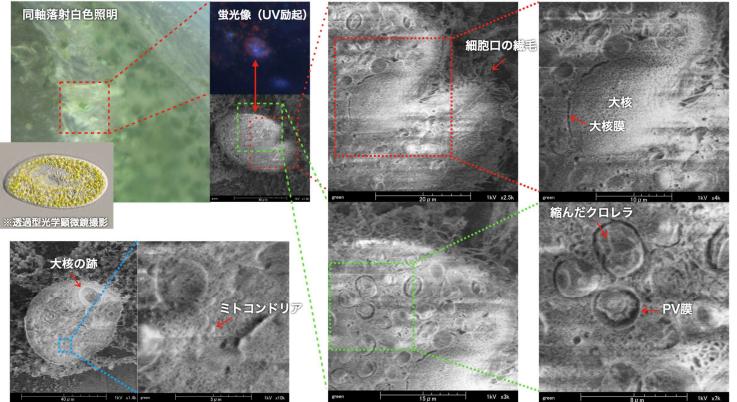
アイスクリームの断面



地衣類 ナメラクロムカデゴケ *Phaeophyscia spinulosa* の断面



原生動物 ミドリゾウリムシ *Paramecium bursaria* の断面



Tribrid Microscope  
by the user for the future